

泉田県政3期12年間に生じた問題

H28年5月 新潟県市長会 新潟県町村会

1 知事と市町村との役割分担に関する問題

高齢者福祉、子育て支援、まちづくり、教育などは、現場を預かる市町村の判断が重要であり、県は広域的な視点から、現場に即した市町村施策を支援・補強する立場を重視すべきである。

しかし、残念ながら知事が行った指示により、市町村との関係の中でいくつかの問題が生じてしまった。

以下にその具体例を挙げるが、詳細については別添資料に詳述した。

- (1) 子ども医療費・子育て支援にかかる県の姿勢について
- (2) 震災がれきの処理について
- (3) 市街地再開発事業に対する補助制度の打ち切りについて
- (4) 県央基幹病院の早期整備について
- (5) 高速バス路線維持にかかる県の支援について
- (6) 介護施設に対する県の財政支援について
- (7) 小木ー直江津航路における県と市町村との役割分担について
- (8) 県予算に係る市町村との事前協議・調整について

2 国や他の関係機関との関係から生じた問題

国や他の関係機関に対する知事の強い対抗心が垣間見えることがあるが、その結果、良好な関係に軋みが生じたと考えられる面がある。

国や関係機関に言うべきことを言うのは正しいことではあるが、行き過ぎた言動や対応は、両者の間に軋轢や弊害が生じるのではないかと考える。

以下にその具体例を挙げるが、詳細については、別添資料に詳述した。

- (1) 北陸新幹線における国等との調整について
- (2) 国直轄事業と県との調整について

3 知事と職員との意思疎通に係る問題

知事と職員との意思疎通が十分ではないために生じたと考えられる問題がある。本来、県庁内部の様子を市町村が知ることは困難な面があるが、市町村に事前の相談がないままに突然予算案が示されたりしたために、市町村に混乱が生じ、結果として県の事務方が市の事務方に謝罪した例もある。

以下にその具体例を挙げるが、詳細については、別添資料に詳述した。

- (1) 県の医療・福祉法定4計画の未策定問題について
- (2) 子ども医療費・子育て支援にかかる県予算編成時の混乱について
- (3) 上水道の汚泥処分について

4 知事自身の意見により事業等に遅れ等が生じた問題

知事が、自身の意見に対し強い信念を持つことは結構なことと考えるが、その意見に固執するあまり、市町村の業務や事業等に支障が生ずるケースがあった。

以下にその具体例を挙げるが、詳細については、別添資料に詳述した。

- (1) 原子力災害に係る広域避難計画について
- (2) 上水道の汚泥処分について（再掲）
- (3) 県央基幹病院の早期整備について（再掲）
- (4) 国直轄事業と県との調整について（再掲）
- (5) 震災がれきの処理について（再掲）

5 その他の理由による事業等の遅れの問題

財政規律の維持やその他の理由により、特定の分野での予算が、就任前と比較して大幅に減少するなど、事業等の執行に支障が出ているという問題がある。

以下にその具体例を挙げるが、詳細については、別添資料に詳述した。

- (1) 県有施設の老朽化への対応について
- (2) 土木部予算、特に、砂防予算の大幅な減少について

6 全県発展のための県知事のリーダーシップの問題

全県発展のために、県が主導し責任をもって取り組むとされた政策が進展していない状況が発生している。全県にわたる地域経済の発展、県民生活の向上に資する政策に対して、県知事のリーダーシップが十分に発揮されていないものが見受けられる。

以下にその実例を挙げるが、詳細については、別添資料に詳述した。

- (1) 新潟空港へのアクセス強化について
- (2) 北陸新幹線開業後の県全体の交通網強化について
- (3) 航路・航空路の拡大について

7 県政に対する今後の課題

以下に、各市から提出された今後の課題を掲げる。

- (1) 病児・病後児保育施設整備に対する支援の拡充について
- (2) 水道事業の広域化への支援について
- (3) 医療過疎に対する県の取組について